

ウミガメネットワーク三重

URL : <https://umigamenetmie.jimdofree.com/>



活動紹介

■活動場所

四日市市から津市までの海岸が主な活動場所。出前講座は、幼稚園や保育所、小学校、中学校、公民館、学童保育所等依頼があればどこへでも行きます。

■活動日、活動頻度等

海岸での活動は 5～10 月はほぼ毎日。2021 年度はコロナ禍のため、出前講座が 20ヶ所と 12月にウミガメ報告会を行いました。環境学習会も5月に行い、ウミガメの調査や海岸清掃は例年通り行いました。

■活動内容など

1. ウミガメの上陸跡探しをする。また浜を散歩する人や釣り人に協力をお願いします。
2. 上陸跡を発見したら産卵確認をします。
3. 産卵を確認したら杭やロープやネット等で産卵巣を保護し、保護看板を設置します。
4. 台風襲来前に看板や杭等の流失が予想される場合は、可能な範囲で一時撤去します。また台風通過後、被害を確かめ産卵場所の現状復帰をします。
5. 子ガメが脱出する（砂から出る）時期になれば、海岸清掃しウミガメロードを作ります。
6. 子ガメの脱出を確認するため、メンバーと連携して毎日産卵場所を観察に行きます。
7. 子ガメが脱出して1～2週間後に、孵化率調査を行います。
8. 春には専門家を招いて環境学習会（ウミガメに関する講演会）を、秋にはウミガメ報告会を行います。
9. 出前講座では紙芝居やパワーポイント等を用いてウミガメの話をしたり、標本を見学してもらいます。環境イベントにも参加して広報・啓発活動します。
10. 混獲について漁業関係者にお話を伺います。
11. 死亡漂着したウミガメの調査をします。
12. 海岸清掃を随時行います。



代表者の想い

伊勢湾沿岸に 20 年後 30 年後もアカウミガメが産卵に来る事を願っています。ウミガメにとって大きな脅威は、混獲（意図せず魚網に捕獲される）と産卵場所である砂浜の減少です。漁業の大規模化や地球温暖化等により、現在絶滅危惧種であるウミガメがさらに生きにくい状況になっています。今後様々な団体と連携しながら、ウミガメの課題を少しでも改善できるような活動を行いたいです。

PR

アカウミガメが伊勢湾沿岸に産卵している現状を多くの人に周知し、保護活動を進めていきます。

地球温暖化により毎年のようにあちこちで川の氾濫や洪水被害が出ています。ウミガメの産卵場所も大きな影響を受けています。現状を子どもたちに知ってもらいたいので、ウミガメ講座のご希望があれば是非ご連絡ください。

